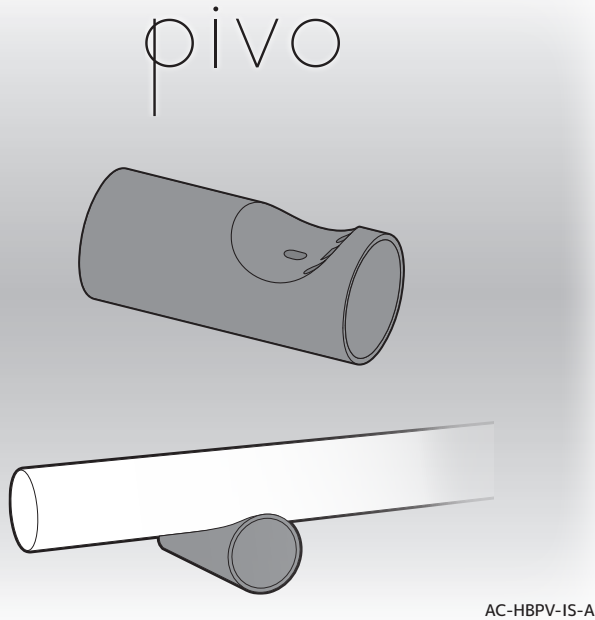


取扱・施工説明書

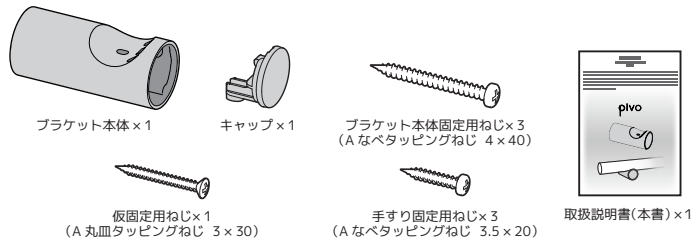
Φ35mm手すりブラケット pivo

このたびは、「Φ35mm 手すりブラケット pivo」(本製品)をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この取扱・施工説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。本書に記載されている以外の方法で、使用しないでください。不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。



セット内容

セット内容がすべて揃っているかご確認ください。



安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

表 示	表 示 の 内 容
△ 警 告	誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定されます。
△ 注 意	誤った取り扱いをすると、軽傷を負ったり、物的損害が想定されます。
❗ 確 認	製品の取り扱いにおける確認事項です。
🚫 禁 止	製品の取り扱いにおける禁止事項です。

△ 警 告

- △ 本書の指定する固定方法で設置してください。
- △ ブラケット(本製品)の固定位置に柱・間柱がない場合、木桟(厚さ35mm×幅105mm以上の硬い木材)または厚さ24mm以上の構造用合板を施工して下地材としてください。
- ブラケット(本製品)を固定する壁面材に石膏ボードを使用する場合、硬質石膏ボード(GB-R-H)を使用してください。
- Φ35mmの木製丸棒手すり以外には使用しないでください。
- 段差や激しい凹凸のある壁に設置しないでください。
- ※ 脱落の原因になります。

△ 注 意

- △ 本製品は住宅の屋内専用製品です。
- ※ 屋外には設置しないでください。
- △ 本製品は木下地専用です。
- ※ 他の下地(軽量鉄骨・コンクリートなど)には設置できません。
- △ 手すりブラケット以外の用途には使用しないでください。
- △ 故障や不具合を発見した場合は使用を中止し、販売店もしくは株式会社水土上までご連絡ください。
- 濡れやすい場所や、浴室など湿度が高くなる場所には設置しないでください。

お手入れ方法

製品を安心してご使用いただくために、日常的に清掃・点検をおこなってください。

- 通常のお手入れ方法
 1. 柔らかい布に水、またはぬるま湯を含ませ、たたく絞ってからふいてください。
 2. 乾いた布で十分にふき取ってください。
- 汚れがひどいときのお手入れ方法
 1. 適度に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。
 2. 柔らかい布に水、またはぬるま湯を含ませ、たたく絞ってから洗剤をふき取ってください。
 3. 乾いた布で十分にふき取ってください。

△ 注意 製品の表面を傷める恐れのある下記のものを使用しないでください。

- クレンザー、磨き粉などの研磨剤を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、メラミンスポンジ、ブラシなど
- ペンジン、シンナーなどの溶剤

- 廃棄される場合：各自治体の区分に従って廃棄してください。

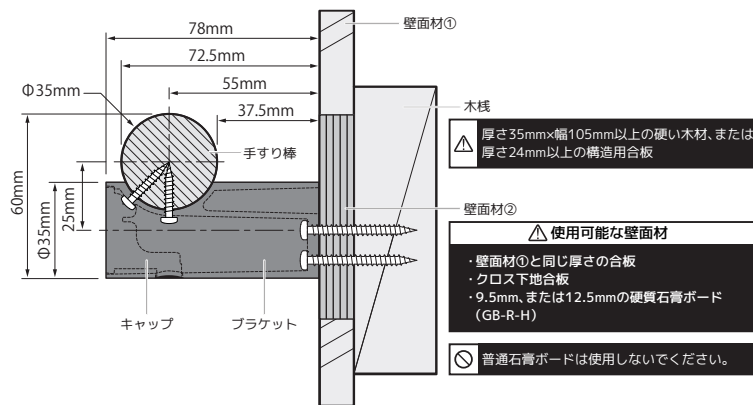
製品の仕様

本製品は、屋内に設置するΦ35mm手すり専用ブラケットです。

製 品 名	Φ 35mm 手すりブラケット pivo
サ イ ズ	Φ 35 × D78 mm
製 品 イ メ ー ジ	
色 名	ブラック
品 番	HBPV-35-BK
材 質	亜鉛ダイカスト・ポリプロピレン・スチール

※ 製品の外観および仕様は品質向上のため、予告なく変更することがあります。

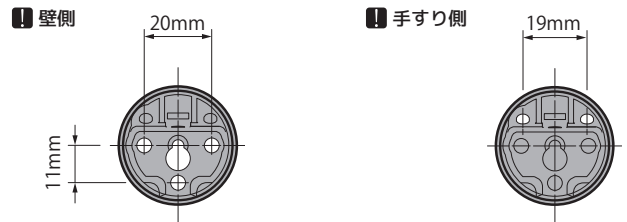
設置時の寸法図



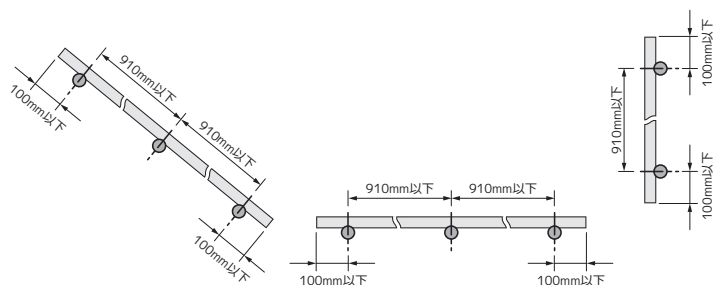
△ ブラケット(本製品)の固定位置に柱・間柱がない場合、木桟(厚さ35mm×幅105mm以上の硬い木材)または厚さ24mm以上の構造用合板を施工して下地材としてください。

❗ ブラケット(本製品)を固定する壁面材は合板、または硬質石膏ボード(GB-R-H)を使用してください。

施工用下穴位置(参考)



手すり棒の取り付け方法



- ❗ ● ブラケット(本製品)を設置する間隔は910mm以下としてください。
- 両端に設置するブラケット(本製品)と、手すりの端部までの寸法は、100mm以下としてください。
- ※ 手すりの端部までの推奨寸法は46mmです。
- ブラケット(本製品)を上下逆さま(ブラケットが上で手すりが下)に設置しないでください。

施工説明書

施工業者様用

Φ35mm手すりブラケット pivo

- ・安全のために、必ずこの施工説明書(本書)をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- ・製品を確実に設置するために、専門業者が施工することを推奨します。
- ・製品が正しく設置されていない状態での事故、破損等については当社は一切の責任を負いません。
- ・本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

施工手順の概要動画

本製品の施工方法の概要は、二次元コードまたは下記URL からご覧いただけます。

<https://youtu.be/xP8C5K6MF5Q>

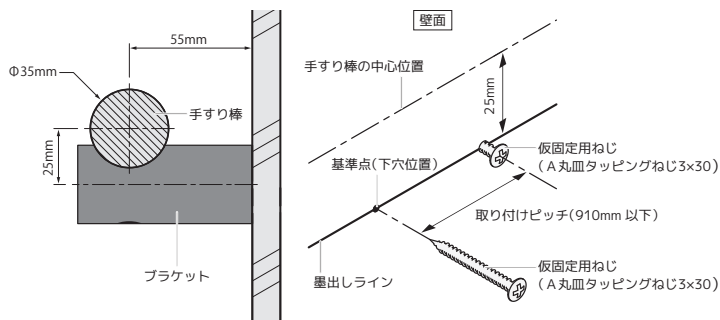


●必ず本書記載の施工方法に従って設置してください。

施工方法

1 ブラケット本体を設置するための位置出し

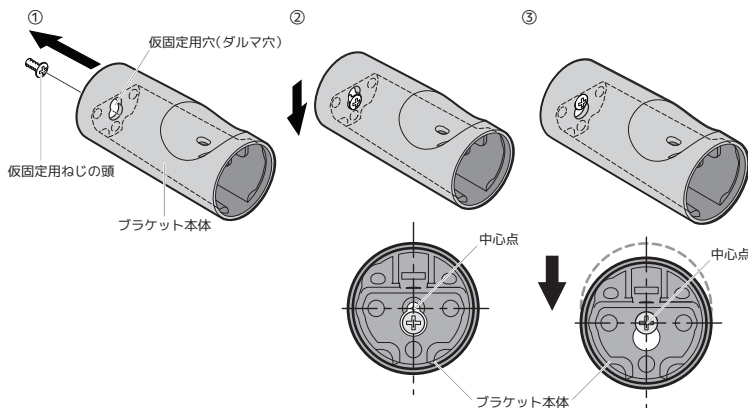
- ① 手すり棒の中心位置から、25mm下の壁面に墨出しラインを引いてください。
- ② 墨出しライン上に基準点(下穴位置)を決めて下穴を開けてください。
- ③ 下穴に仮固定用ねじ(A丸皿タッピングねじ3×30)を締め付けてください。



- 必ず 木下地がある位置に基準点(下穴位置)を設定してください。
- 仮固定用ねじ(A丸皿タッピングねじ3×30)に適した下穴を開けてください。
- 仮固定用ねじは完全に締め付けず、少し緩めた状態にしてください。

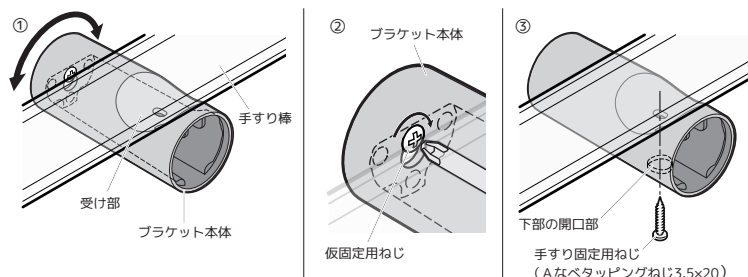
2 ブラケット本体の仮固定

- ① ブラケット本体の仮固定用穴(ダルマ穴)に、仮固定用ねじの頭を通します。
- ② ブラケット本体を、仮固定用ねじの頭が中心点にくるように下げてください。
- ③ ブラケット本体の角度が調節できる程度に、仮固定用ねじを締めてください。



3 手すり棒の仮固定

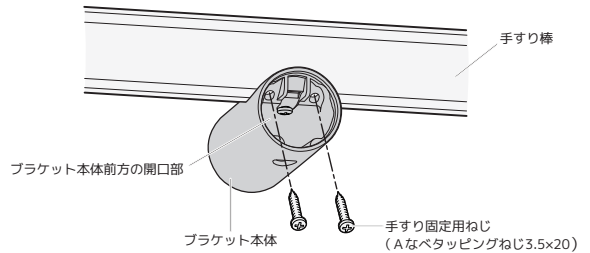
- ① ブラケット本体の受け部に手すり棒を置き、ブラケット本体の角度を調節してください。
- ② 仮固定用ねじを締め、ブラケット本体が動かないようにしてください。
- ③ ブラケット本体の下部の開口部から、手すり固定用ねじ(Aなベタタッピングねじ3.5×20)を通し、手すり棒を仮固定してください。



- 手すり固定用ねじ(Aなベタタッピングねじ3.5×20)に適した下穴を開けてください。
- ドライバーでブラケット本体下部の開口部を傷つけないように注意してください。

4 ブラケット本体と手すり棒を本固定する

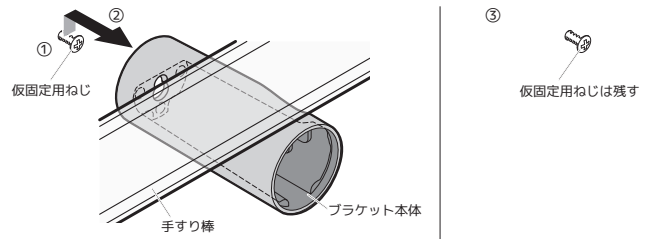
- ① ブラケット本体前方の開口部から残り2本の手すり固定用ねじ(Aなベタタッピングねじ3.5×20)でしっかりと固定してください。



- 手すり固定用ねじ(Aなベタタッピングねじ3.5×20)に適した下穴を開けてください。
- ドライバーでブラケット本体前方の開口部を傷つけないように注意してください。

5 クロス(壁紙)を貼る

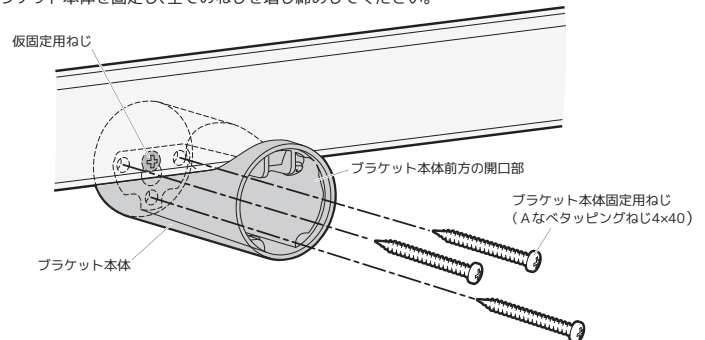
- ① 仮固定用ねじを緩めてください。
- ② ブラケット本体を手すり棒に対して垂直方向に引き上げてから、手すり全体を手前に引いて外してください。
- ③ 仮固定用ねじはそのまま壁面に残します。



- 仮固定用ねじは壁面から外さずにクロス(壁紙)を貼ってください。

6 ブラケット本体を壁面に本固定する

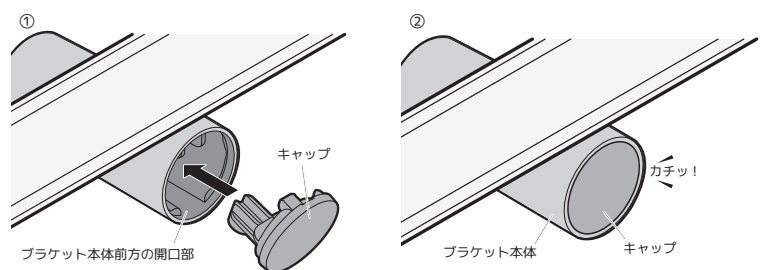
- ① 仮固定用ねじにブラケット本体を取り付けて位置を確認してください。
- ② ブラケット本体固定用ねじ(Aなベタタッピングねじ4×40)の下穴を開けてください。
- ③ ブラケット本体を取り付けた状態で仮固定用ねじを緩めてください。
- ④ ブラケット本体前方の開口部から3本のブラケット本体固定用ねじ(Aなベタタッピングねじ4×40)でブラケット本体を固定し、全てのねじを差し締めしてください。



- 必ずガタツキがないか確認してください。
- ブラケット本体固定用ねじ(Aなベタタッピングねじ4×40)に適した下穴を開けてください。

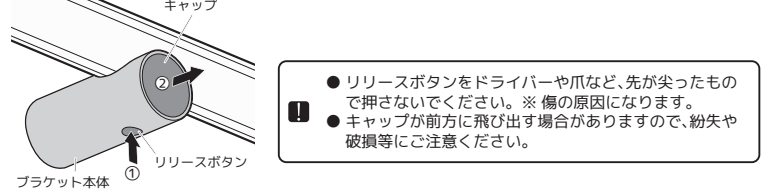
7 キャップを付ける

- ① ブラケット本体前方の開口部にキャップを差し込んでください。
- ② キャップが「カチッ」と鳴り、ブラケット本体に完全に差し込まれていることを確認してください。



キャップの取り外し方

- ① ブラケット本体下部にあるリリースボタンを指で押してください。
- ② キャップがブラケット本体から外れます。



- リリースボタンをドライバーや爪など、先が尖ったもので押さないでください。※ 傷の原因になります。
- キャップが前方に飛び出す場合がありますので、紛失や破損等にご注意ください。